

2026年度前期 物理学系演習科目 クラス分け

科目名	200番台/300番台	クオータ	クラス分け
物理数学Ⅰ（演習）	200	1Q	学籍番号偶数 → Aクラス 学籍番号奇数 → Bクラス ただし、初回授業時の人数調整で別のクラスに移ってもらう可能性があります。
電磁気学（演習）	200	1Q	学籍番号偶数 = A、奇数 = B 再履修者と他系からの受講生はクラス（AかBか）を自由に履修してください。 ただしどちらも人数調整で別のクラスに移ってもらう可能性があります。
物理数学Ⅱ（演習）	200	2Q	A 学籍番号末尾が奇数 B 学籍番号末尾が偶数 ただし、初回授業時の人数調整で別のクラスに移ってもらう可能性があります。
解析力学（演習）	200	2Q	学籍番号奇数 = A、偶数 = B 再履修者と他系からの受講生はクラス（AかBか）を自由に履修してください。 ただしどちらも人数調整で別のクラスに移ってもらう可能性があります。
統計力学（演習）	300	1Q	初めてこの授業を履修する学生は、学籍番号下3桁の数字を8で割り、余りが2,3,4,5の学生はAクラス、0,1,6,7の学生はBクラスが所属になります。 履修登録の際は間違えないようにしてください。 ただし、再履修の学生はAクラスとBクラスの選択は自由です。
統計力学Ⅱ（演習）	300	2Q	初めてこの授業を履修する学生は、学籍番号下3桁の数字を8で割った余りに応じて、以下のようにクラス分けをしてください。 余りが0, 1, 6, 7の学生：Aクラス 余りが2, 3, 4, 5の学生：Bクラス （統計力学Ⅰ演習とはA/Bが逆のクラス分けです。） 履修登録の際は、間違えないようにしてください。 ただし、再履修の学生については、Aクラス・Bクラスのいずれを選択しても構いません。
電磁気学Ⅲ（演習）	300	2Q	学籍番号偶数 → Aクラス 学籍番号奇数 → Bクラス ただし、初回授業時の人数調整で別のクラスに移ってもらう可能性があります。